科目名	53. ヘルスプロモーション				
履修年次	1年次	科目区分	専門分野	単位数 (時間)	1単位 （30時間）
ディプロマポリシー(DP)	□ 人を大切にするこころ ☑ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力 □ チームの中で連携・協働するための力 □ 専門職業人として自己研鑽する力				
科目目標	人々が自らの健康を保持増進するために必要な施策・支援を理解することができる				
到達目標	健康の保持増進・疾病予防について生活者に必要な施策・支援を表現することができる				
評価方法	筆記試験（100点）				
使用 テキスト	系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学②　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学③　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅰ　臨床看護総論　基礎看護学④　医学書院 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　成人看護学総論　成人看護学①　医学書院 国民衛生の動向　一般財団法人　厚生労働統計協会				
参考文献	必要に応じて事前に提示				
教育方法と学生への期待 (求めること)	看護学は全ライフスタイルにおいて、そして病院のみならず家庭や学校、職場などの生活するあらゆる場の人々を対象としています。看護学の目指すところは、日々の具体的な生活に主軸を置き、状況を見極め、健康へのケアを構築し、人々の価値観や健康に関する思いに沿った支援を提供することです。 ヘルスプロモーションの考え方を主軸に、成人期にある人々の看護を演習を取り入れて学んでいきます。ここで学ぶ学生自身も成人期であることを自覚し、自分のこととして講義に望んで欲しいと考えています。理解を深めるためにも予習・復習を行い積極的に講義・演習に臨みましょう。				

回	学習項目	学習内容	授業 方法
1	授業ガイダンス 成人と生活	ヘルスプロモーションと看護 成人の定義・成人期にある人の理解・社会の姿とともに変化するライフスタイル	講義 演習
2	成人の特徴	成長・発達過程から見た成人の特徴　青年期・壮年期・向老期	演習
3	社会の中で生活を営むということ・働くことと生活	働いて生活を営むこと 職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護	講義

4	成人各期に特徴的な健康課題とヘルスプロモーション	生活習慣病、悪性新生物、職業性疾患、ストレスなど	講義
5	成人の健康の動向と保健・医療・福祉施策	保健統計からみた成人の健康の動向 保健・医療・福祉システムの概要 地域社会におけるヘルスプロモーションを促進する看護	講義
6		健康生活におけるヘルスプロモーション活動	演習 情報科学室
7			演習 情報科学室
8			演習
9	健康障害をもつ成人に関わる際の基本的な視点	成人期にある人が健康障害をもつことの意味・健康生活を支える人間関係の構築・患者家族の意志決定を支える	講義
10		健康行動への行動変容、健康の保持増進のための支援	講義
11	ヘルスプロモーションにおける看護技術	身体計測 学習支援（食事指導）	演習 （実習室） 情報科学室
12		学習支援（食事指導）	演習 情報科学室
13		学習支援（食事指導）	演習
14	健康状態の経過に基づく看護	健康状態と看護 健康の維持増進 急性期における看護・健康の危機的状況への適応	講義
15		リハビリテーション期における看護 慢性期における看護 終末期における看護	講義